

新型コロナウイルス感染拡大に伴う関係機関の相談・対応状況について

資料4

	所属機関名	項目	件数	対応	対応する中で困ったこと
1	大路区まちづくり協議会	該当する内容は特にありませんでした。 ただし、例年行事が、縮小中止が当たり前の様に過ぎ去ってしまい、各人の状況が見えないのが気になります。特に生活困窮者の実状が全く見えていません。⇒自殺や自殺未遂に至るのではないかと心配です。大路区まちづくり協議会としては何か手助け出来る事はないか協議検討中です。			
2	メープル・クリニック	昨年春以降～夏まで コロナうつ患者	8件	草津栗東医師会GP ネット症例検討会 (令和2年8月29日、於ポストン・プラザ) 「COVID-19流行化における地域精神科治療」で発表した。	医師会会員と症例検討を行った。
3		昨年春以降～夏まで コロナ・ノイローゼ患者	10件		
4		昨年10月以降もうつ病あるいは、うつ状態の勤労者が多数初診されている。		令和3年中に発表予定	
5	草津市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大で周囲との接触機会が減少する中で、孤立化が特に高齢者、ひとり暮らし高齢者、病弱者等に目立つようになりつつある。 ・特に男性の一人暮らし高齢者で病弱な方は、身近な相談との交流機会が減り、近親者が遠方在住の場合、孤立化傾向が顕著と思える。 ・若・壮世代に勤務先の閉鎖・廃業等で失職する方や、高齢者で臨時・パート再雇用職を失い、行き場を失い、自宅内でこもりがちとなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、グランドゴルフへの参加呼びかけと、見学参加の呼びかけ実施。 ・お弁当配布、敬老会記念品配布等で近況の把握実施。 ・民生委員児童委員協議会との情報交換。状況に応じ地域包括支援センターとも協議。 ・中には「うつ病？」の方もいるが、専門医の治療中との事で見守っている。 ・地域行事の再開について、話しあわれるようになりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の中心だった自治会が役員1年交代・関係希薄化で、活動の足腰が弱くなりつつある。 ・最近「個人生活重視」傾向が強くなり、従来からの親戚・友人関係がよわくなり、無関心者が増えつつある。 ・特にこの1年はコロナ感染拡大で、地域諸行事が中止となり、ますます地域全体の足腰が弱くなりつつある。 ・失職者でも、地域生活・活動に切り替えられる場合があり第三者からの対応は大変難しい。
6	凧の会おうみ	自死に関する報道(特に著名人、芸能人)を見て、自分が間もない時のことを思い出すなどして辛くなった。自分の家族が亡くなったようなショックを感じた。		できる限りていねいにお話をお聞きすることを心がけた。同時にその話題をあまり引きずらないようにして、相談される方がそのことのみにとらわれすぎないようにした。	現在はガイドライン等に従ったのか、過度な報道は減ったように感じるが、夏くらいまでは、影響が大きいと感じて、対応に意識したところもあった。
7		緊急事態宣言が出た(1回目)ことに伴い、遺族の分かち合いの開催を中止した(4月と5月)		分かち合いを6月に再開後、特に3ヶ月ほどは、参加者の数が普段の倍くらいになり、社会的影響が遺族にもおよんでいると感じた。分かち合いの中では、あまりその話題(コロナ等)には及ばないようにご自身のお話に集中してもらおうように心がけた。	他府県からの移動の制限などで、スタッフの数が不足気味になり、会の当日の運営などに小人数であらなければならなかった。

	所属機関名	項目	件数	対応	対応する中で困ったこと
8	草津市民生委員 児童委員協議会	ひとり暮らし高齢者からの相談が増えた ・感染の不安 ・人とのつながりがなくなった不安		・地域包括センターに連絡 ・学区社協と連携してメッセージカード等を届けた	
9		仕事がなくなり経済的に困難		市社協 緊急小口資金を申請	
10	草津公共職業安 定所	自殺または自殺をほのめかすような相談はない。 飲食業、宿泊業、美容業、結婚式場、化粧品製造業、運送業、倉庫業、介護事業、派遣事業などに就業されている方から仕事ができなくなり解雇された、内定先の仕事ができなくなった。または就業時間が短くなって次の仕事を求める相談がふえている。	コロナ関係退 職相談 221人 (令和2年4月 ～12月)	当所において職業相談、職業紹介を実施している。また職業訓練により新たな技能・技術を身に付ける相談を行っている。	コロナの状況が改善しない中、慣れた従来の職種を希望される方も多いが従来の職種は少ない現状である。しかしながら11月の有効求人倍率は0.90倍、前年月より0.50ポイント低く他の職種を含めて競争率が高く就職率が高く就職が難しい状況である。
11	草津商工会議所	コロナに関連する補助金、助成金等の相談 (相談内容は以下の通り) ・雇用調整助成金 ・持続化給付金 ・草津市飲食店応援チケット ・家賃支援給付金(国、市) ・小規模事業者持続化補助金 ・新しい生活・産業様式確立支援事業 ・滋賀県臨時支援金 ・滋賀県コロナウイルス経営強化補助金 ・IT導入補助金 ・固定資産税特別措置 ・ものづくり補助金 ・滋賀県コロナウイルス対策経営力強化補助金 ・もしサボ滋賀登録支援	総数 648件 (コロナ関連 のみ)		
12		コロナ関連融資に関する相談	総数 1,290件 (コロナ関連 のみ)		
13		会員の飲食業者が自死されたと聞いておりますが、新型コロナウイルス感染拡大との関連は確認できておりません。			
14	社会医療法人誠 光会草津総合病 院	コロナ禍で失業となるが、がん治療をしており継続が困難になっている。	1件	幸いにも傷病手当金の支給申請が可能であったので、申請補助を行った。	一時的な対応にはならないと感じるが、がん治療の費用は不足しており、その後のフォロー等は確実に必要だと感じた。お金も足りないだろうし…。

	所属機関名	項目	件数	対応	対応する中で困ったこと
15	社会医療法人誠光会草津総合病院	コロナ陽性で入院となった高齢患者が、退院許可が出たものの、スムーズに退院できないケースがあった。(要因としては、主介護者自身も濃厚接触者となったため、身動きが取れない等の事情あり)	2件	ケアマネと連携し、ケアマネから緊急ショートステイを手配するなどしていただいた(結果的には入院が伸びたことで利用には至らなかったが)	コロナ棟で入院延長ができず、他病棟も満床の状況においては、退院許可が出るとすぐに退院してもらう必要があるが、実際にはサービス事業所がコロナの件で事業中止されていたり、他の受け皿がすぐに調整できなかったりするなどして、対応が困難なことがあった。 受け入れる家族としても退院許可は出ているとはいえ、同じ空間で生活するのに不安や心配の気持ちは大きいことを伺った。
16		コロナ禍により通所先の利用ができず、患者・ケアマネよりリハビリ、レスパイト目的の入院相談あり。活動量低下によりADL低下。	4件	ケアマネと連携し、入院の必要性を判断し、入院調整を実施。	コロナ禍によりベット状況が緊迫している中では、入院が困難なこともある。
17		自殺企図の患者。元々生活に困窮している最中、コロナ禍で失業。過量服薬による自殺未遂。	1件	入院中から、面談を重ね、退院と同時に予約を取っていた社会福祉協議会へ、緊急小口資金等の支援につながってもらえるように調整した。	確実につながってもらえるように、細かく対応する中、多く困窮者の相談があると聞き、詳細な支援金のサイトをもっと知っている方が良いと感じ、その後支援金について調べ情報をストックした。
18	南部健康福祉事務所	コロナウイルスの影響で仕事が休みになり「自分は必要とされていないのではないかと考えるようになり自殺未遂。湖南いのちサポート相談事業同意が得られたため救急告示病院より情報提供。	1件	未遂者支援事業に基づき支援。未遂に至った要因や自殺リスクのアセスメントを行い、市自殺対策主管課と連携し本人に対して不安、不満の傾聴。仕事問題が解決したため相談希望なく終了。	
19		コロナの影響で仕事が減り収入も減少した。そのため家賃滞納し、自宅立ち退きを迫られ自殺未遂。湖南いのちサポート相談事業同意が得られたため救急告示病院より情報提供。	1件	未遂者支援事業に基づき支援。未遂に至った要因や自殺リスクのアセスメントを行い、市自殺対策主管課、市生活保護主管課、地域包括支援センターとの連携により、生活保護受給をはじめとした生活支援、本人及び家族の相談支援に結びつき、現在は安定。	
20		コロナウイルス感染拡大により陽性者や濃厚接触者、一般住民や事業者等の感染に関する不安の訴え	多数	相談者の不安や辛さなど、気持ちの受け止めを行いフォローしている。 陽性者や濃厚接触者に対しては、コロナ関連の心のケア相談窓口のリーフレットをお渡しするなど相談窓口についても案内している。 コロナウイルスに関する正しい知識を持っていただけよう、相談のあった際には知識の提供を行うとともに、事業所、家庭内等で活用できるリーフレットを適宜配布したりしている。	・コロナ陽性者や濃厚接触者に対する過剰な反応、風評被害